岡山畜産便り

2018 6



真庭市古見 福島 章晴さん(肉用牛)

もくじ

	•	
〔酪大だより〕第54期生が入学しました。(公財)中国四国酪農大学校	1	〔県民局だより〕 酪農から肉用牛繁殖への経営転換に注目! 美作県民局畜産第二班
平成30年度の岡山県重点施策及び普及指導重点課題について 岡山県農林水産部畜産課	2	〔畜産現場の声〕酪農から和牛繁殖へ福島 章晴(真庭市古見)
平成30年度家畜共済事業重点実施方策 岡山県農業共済組合連合会 ···································	5	繁殖コンサルタント 〜獣医師の新たな挑戦〜
平成30年度全農岡山県本部重点事業及び重点取組課題 全農岡山県本部畜産部 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6	おかやまETクリニック 篠田 剛 18 (公財)中国四国酪農大学校第1牧場(ホルスタイン種)が 県内2例目となる農場HACCP認証農場に認定されました!
平成30年度重点事業について おかやま酪農業協同組合	7	(一社) 岡山県畜産協会
平成30年度重点事業・畜産農家からの相談対応一覧 (一社)岡山県畜産協会	8	知って得する鳥獣害対策 (一社) 岡山県畜産協会経営対策班 20
[家保のページ] 牛白血病清浄化への取組み事例について 岡山家畜保健衛生所	11	「農大生のプロジェクト研究紹介」 大規模和牛繁殖経営における母牛モニタリング方法の検討 畜産課程和牛コース 金平 輝久 21
[技術のページ] 平成30年度 畜産研究所の主な試験研究課題について	11	〔お知らせ〕 平成31年度入学 農業大学校学生募集概要 ······ 23 岡山県農業大学校
岡山県農林水産総合センター畜産研究所 企画開発グループ	13	平成31年度学生募集・オープンキャンパス (公財)中国四国酪農大学校 24





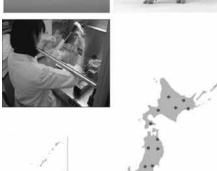


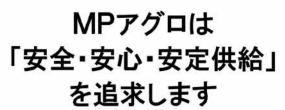












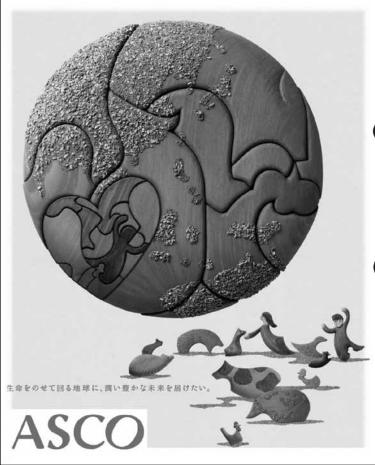
●安全な畜水産物の生産をサポートし、 獣医療の発展と食の安全・安心に貢献します。

▲ MPアグロ株式会社

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13 TEL 011(376)3860 FAX 011(376)3450

岡山支店 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4880 FAX 086-724-4889 東京本部・岡山オフィス・福岡オフィス 札幌・函館・旭川・帯広・北見・釧路・東京・青森・秋田・盛岡・山形・仙台 岡山・広島・山口・鳥取・島根・松山・宇和島・高松・徳島・大阪第一・大阪第二・兵庫 福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・雅屋 札幌物流センター・帯広物流センター・盛岡物流センター・御津物流センター・福岡物流センター AHSC西日本・AHSC九州

* AHSCはアニマルヘルスサポートセンターの略称です



株式会社アスコ

http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー 人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021 愛知県豊橋市白河町100番地 TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

営業所 所在地

- ・東日本支店 児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木 東京、大宮、宮城、福島
- · 中日本支店 - 豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店 広島、福山、山口、米子、岡山 大阪、京都

〔酪大だより〕

第54期生が入学しました。

公益財団法人中国四国酪農大学校

平成30年4月6日、公益財団法人中国四国酪農大学校に第54期生21名が入学しました。第54期生は男子9名、女子12名で、第44期生以来10年ぶりに女子の方が多い学年となりました。近年、農業高校の女子生徒数が増えており、本校もその流れに乗っているようです。また、農業高校出身者が9割であり、普通科出身の2名は酪農後継者であるため、全員が入学前から農業経験者ということも近年では珍しい学年となっています。



第54期生入学式

昭和36年に「岡山県立酪農大学校」として設立され、昭和40年に中国四国9県と兵庫県を合わせた10県で構成する「財団法人中国四国酪農大学校」に改組した本校は、平成22年に専修学校の認可を受け、平成25年には公益財団法人に移行しました。『経営感覚と確かな技術を持った人材の育成』『酷農を通じて地域に貢献できる人材の育成』『社会人としての基礎力を備えた人材の育成』を教育理念に掲げ、卒業後に即戦力として認められる技術、知識の修得を目指した実践教育を行っています。

酪農現場で役立つトラクターやフォーク リフト等の作業機械免許や人工授精師、受 精卵移植師、削蹄師等の資格を取得する機会を設けるとともに、国内で多く見られる2種類の飼養形態を採用した2つの付属牧場で実践を重ねることにより、机に向かっての授業だけでは得ることのできない技術の修得を目指しています。

第54期生は4月11日から搾乳や給餌作業 等の牧場実習を行っています。慣れない寮 生活や早朝作業もあり、日中の講義時間は 眠気と戦っている姿が多く見られます。先 日行ったロープワークの授業では、ロープ の端止めや頭絡、もやい結び、男結びなど 牛の保定に必要な技術を学びました。まだ 慣れない手つきでロープを取り扱う彼らが 本校での2年間でどれだけ成長するのか楽 しみです。



ロープワークの授業風景

昨今、日本の畜産業はさまざまな課題を 抱えており、業界を取り巻く環境は厳しさ を増す一方ですが、この現状を打破し畜産 業界に新風を吹き込む人材の育成を目指 し、日々精進してまいりますので、酪農家、 肉用牛農家を目指す若者に、ぜひ本校をお 勧めください。

『平成30年度の岡山県重点施策及び普及指導重点課題について 『

岡山県農林水産部畜産課

岡山県では「新晴れの国おかやま生き活きプラン」における「攻めの農林水産業育成プログラム」に基づき、農林水産業の強化を図り、儲かる産業としての実現を目指しています。

特に畜産においては、酪農や肉用牛等の 生産振興、飼料自給率向上、担い手確保、 消費拡大、危機管理体制の強化、技術開発 などの対策に取り組み、総合的に畜産振興 を図ることとしていますが、本年度の主な 重点施策は次のとおりです。

1 生産振興対策

○畜産クラスター事業

地域の畜産関係者が連携し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための計画を 策定し、中心的な経営体が実施する施設整 備や機械導入等を総合的に支援し、生産基 盤の強化を図ります。

事業内容

- ①施設整備事業(施設整備を支援)
- ②機械導入事業 (機械のリース導入を支援)
- ③実証支援事業 (収益力向上の実証を支援)

○岡山和牛おいしさ評価事業

生産者のメリットを確保しながら消費者 ニーズに対応した「おいしい和牛肉」の生 産に向けた和牛改良を進めるため、新たに 「おいしさ」の指標となる項目(小ザシ化、 オレイン酸など)について、枝肉の調査・ 分析を行い、遺伝的能力(育種価)を算出 し、改良を進めます。

○暑熱ストレス低減で乳量アップ!酪農支援事業

乳用牛の暑熱ストレスによる生産性の低

減が課題となる中、遮熱効果が高く耐久性に優れた畜舎屋根のセラミック塗装の施工経費の一部を支援し、その効果や生産性のデータを収集し、実証することで普及を図ります。

○「みんなの牧場へ」ステップアップ事業

公共育成牧場が経営を中止し乳用後継牛の育成拠点が減少するなか、牧場にかわり 預託機能を補完する取組を支援し、後継牛 の確保を図ります。

○全国共進会への出品対策

H32年10月、宮崎での乳牛共進会やH34年9月、鹿児島での和牛共進会に向けて、県出品対策協議会と連携し、候補牛の管理指導、県代表牛の選抜、出品等の取組を推進します。

○ベンチマーキングで養豚生産性向上事業

生産者の課題把握と改善への取組を促すため、同業他社と自農場の成績を比較して、経営の改善点を見つけるベンチマーキングの手法を取り入れ、データに基づいた経営改善の取組を支援します。

2 飼料自給率向上対策

○飼料自給率向上対策事業

水田等を活用した自給飼料の生産や利用 の推進を図り、持続可能な儲かる畜産業の 実現を目指します。

事業内容

- ①稲WCS専用品種の作付拡大支援
- ②水田飼料作物の利用拡大支援

○耕畜連携による水田での「飼料用トウモ ロコシ」の実証事業

大型米麦農家による水田での実証ほの設

置と耕畜双方の行政等機関が連携した普及 啓発活動を推進し、作付拡大に取り組みま す。

事業内容

- ①事業推進
- ・ 畜産課・農産課、畜産・作物普及、畜 産及び農業研究所等の連携による。
- ②主な進め方
- ・大型米麦農家による栽培実証、稲作農 家を対象とした講習会の実施、普及推 進のための資料作成や研修会の実施等

3 担い手確保対策

○酪農担い手確保対策事業

(公財)中国四国酪農大学校では、将来にわたって持続可能な運営を実現するため、「中期運営計画」を策定しています。この中で、魅力ある学校づくりや運営基盤の強化に向けた取組を行うこととしており、その取組を支援することで、学生の就学を促進し、次代の酪農の担い手を確保し、酪農振興に努めます。

事業内容

- ①教育事業 (学生教育の実施)
- ②運営体制強化事業(教育カリキュラムの充実、学生支援活動の実施等)

4 消費拡大対策

○おいしい「岡山牛」PR推進事業

「岡山和牛」の認知度調査を実施するほか、 県産牛の特徴付けのために、果実粕など、 食品製造副産物等の飼料化を研究します。

また、ジャージー牛肉については、希少性、機能性に着目し、観光部局と連携し、 地域の観光資源としてPR活動を行います。

○牛乳・乳製品消費拡大事業

県産牛乳の安定的な消費に資するため、 学校給食への供給事業を適正かつ円滑に推 進します。また、毎年6月の牛乳月間や各 種行事で、牛乳の持つ健康機能等をPRし ます。 さらに、岡山県マスコット「ももっち」 を用いた「県産生乳100%認定制度」の普 及に努めます。

○県営食肉市場予防保全・経営改善事業

施設等の耐久度診断結果に基づく予防保 全の観点から、計画的な修繕・改修を行う ことで施設の長寿命化を図ります。

また、県営食肉市場活性化委員会において改善計画の策定に取り組み、食肉市場を核とした食肉の好循環サイクルを創出することで、本県畜産業の安定的な発展と県民の食の充実を図ります。

5 安全で安心な農林水産物の生産と信頼 確保の推進

○家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法に基づき、家畜伝染病 の検査、消毒、病性鑑定等を実施し、家畜 伝染病の発生予防及びまん延防止により、 畜産経営の安定と安全な畜産物の供給を図 ります。

特に高病原性鳥インフルエンザと口蹄疫については、農場の飼養衛生管理基準の遵守による侵入防止対策や監視体制の強化に努めるとともに、関係機関や協力団体との連携強化を図るなど、大規模農場や同時多発にも対応できる体制づくりを進めます。

6 畜産の技術開発と普及

農林水産総合センター畜産研究所では、 経営の効率化や高品質畜産物の生産振興と ブランドの確立を図るため、生産現場に役 立つ先進技術を組み合わせた革新的技術体 系の実証研究や、将来を見据えて次世代の 技術体系を生み出す基礎的研究を行い、成 果の速やかな実証と普及を図ることとして います。

これらの事業が円滑かつ効果的なものとなるよう引き続き御協力をお願いします。

7 岡山県普及指導重点課題について

普及指導業務を担当する県民局では、研究部門と一体となり、地域の課題解決に有効な技術を現地実証(5地区、5課題)するなど、畜産経営の安定に向けた効率的かつ効果的な取組に努めてまいります。

また、県下全域で四ツ☆子牛認定率向上 に努めます。

以下、各地域の普及指導計画を紹介します。

【岡山・東備地域】

[課題名]

水田を活用した粗飼料供給・利用体制の確立

[内容]

- ○飼料用トウモロコシの実証ほ展示、安 定多収栽培技術や栽培体系の確立
- ○イネWCS専用品種の栽培・利用の確立

【岡山地域】

[課題名]

畜産クラスター等地域と連携した酪農振 興

[内容]

- ○畜産クラスター協議会や酪農支援チーム等地域の推進体制の支援
- ○暑熱対策実証農家の検証や乳質の改善

【倉敷・井笠地域】

「課題名)

畜産クラスターによる規模拡大と産地育 成の支援

[内容]

- ○各農家の個別指導による生産性の向上
- ○増頭計画に伴う自給飼料増産対策の実施
- ○臭気対策や良質堆肥の生産流通など環 境保全型農業の推進

【高梁地域】

[課題名]

国産飼料の生産・利用技術の向上に対する支援

[内容]

- ○耕作放棄地への和牛放牧面積の拡大
- ○肥育もと牛の生産拡大
- ○飼料用米 SGS の利用拡大

【新見地域】

[課題名]

生産基盤の強化と生産性の向上

[内容]

- ○担い手・新規就農者等への支援の推進
- ○預託牧場等での肉用子牛育成体制の検討
- ○良質な稲WCS生産体制の構築

【津山・真庭・勝英地域】

[課題名]

耕畜連携による地域産粗飼料生産・利用 の推進

[内容]

- ○高品質稲WCSの生産利用と推進体制 づくりの支援
- ○耕畜連携による飼料用トウモロコシ生 産・利用の取組の推進
- ○飼料用トウモロコシの安定生産技術の 確立支援

[課題名]

畜産クラスターによる生産基盤強化と生 産性向上

[内容]

- ○計画の策定と目標達成の支援
- ○関係機関の連携強化による事業実施推 准
- ○実施経営体への重点指導によるモデル 経営の育成と普及

[課題名]

肉用牛新規就農者受入体制整備と就農支援

[内容]

- ○就農希望者及び新規就農者への支援体 制の確立
- ○「空き牛舎バンク」の公開と利用者募 集による遊休施設の有効利用推進



平成30年度家畜共済事業重点実施方策



岡山県農業共済組合連合会

1 事業推進の方策

家畜共済事業は、家畜の死亡、廃用、疾 病及び傷害などの事故に対し、損害を補填 する制度です。

昨年度の実績は、病傷事故件数は、例年並みとなりました。死亡廃用事故件数では、乳牛の雌等で16.6%、肉用牛等で15.2%の増加となりました。特に乳用子牛等(胎児含む)で25.5%、他肉用子牛等(胎児含む)で16.9%の増加となりました。畜産情勢は、資材費並びに導入牛・子牛価格の高騰などの諸事情により依然厳しい状況が続いています。

NOSAI岡山では、制度の普及はもとより農家経営のセーフティネットとなるよう 適正実施に取組んでいきます。

- (1)年2回の家畜飼養頭数調査を実施し、資源把握を行い、組合等とともに制度の周知徹底を図り、引受拡大による農家の損失補填に努めていきます。
- (2)関係する研修会等へ積極的に参加して農 家ニーズの把握に努め詳細に制度説明を 行ない加入率の向上を図っていきます。
- (3)子牛及び牛の胎児並びに豚を積極的に加入推進し、農家の補償拡大を図っていきます。

2 家畜診療所の運営

昨年県下で26,085件の病傷事故が発生し、 その内78%に当たる20,379件の事故につい て県下7箇所の連合会家畜診療所と1支所 で診療を行いました。

また、本年は42名の獣医師により診療業

務及び損害防止事業を行っています。

家畜診療所は次の項目を重点とし業務を 行います。

- (1)畜産経営の安定を図るため、診療業務及 び損害防止体制を充実させ、支援体制を 強化していきます。
- (2)獣医師は、治癒率向上のため、疾病牛の早期摘発、早期治療を行います。
- (3)生産獣医療体制の強化のため、職員の専門化を進め指導者を育成します。
- (4)技術研究会の活動を中心として、獣医師の技術及び資質の向上に努めます。

3 損害防止事業の実施方策

死廃・病傷事故低減を図るため、生産獣 医療支援センター、家畜診療所が中心と なって農家及び関係機関との連携により、 特定損害防止事業、一般損害防止事業の充 実を図ります。

- (1)組合員等の畜産経営安定のために、繁殖検診等の支援体制を充実します。
- (2)子牛及び牛の胎児の事故を減少させるため、分娩時の飼育管理指導をします。
- (3)肢蹄疾患を減少させるため、岡山県装削蹄師会と連携し事故防止に努めます。

NOSAI岡山では、以上の他、診療体制を整備し診療業務を充実させることはもとより、畜産農家への支援により収益向上、消費者への安心・安全の提供、防疫体制の拡充等に貢献することが重要な業務と考えておりますので、皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



平成30年度重点事業及び重点取組課題



全農岡山県本部 畜産部

【実施具体策】

- 1. 生産基盤の維持・拡大のため、生産者・JAと連携し和牛繁殖基盤への新規参入・経営 転換支援を行うとともに、畜産クラスターへの積極的参加を行います。また、ICT機 器導入推進を行い事故率の低減を目指します。
- 2. 岡山和牛子牛資質向上対策協議会と連携した生産指導を行い、「おかやま四ッ☆子牛」 認定率の向上を図り、有利販売による生産者手取の向上を目指します。
- 3. 県産畜産物消費拡大のため、直接販売を積極的に行うとともに既存精肉店でのPR活動の強化並びに他業種と連携した加工品作りを進めます。また、ブランド強化のため全農ミートフーズ等との協力のもと、首都圏での販売強化にも取り組みます。
- 4. 飼料米・SGS等を活用した畜産物販売を生協等と進めていくことで、耕畜連携を後押しし農業の生産力向上に取り組みます。

【行動計画】

実行具体策	30年度行動計画(数値目標)
1. 生産基盤の維持・拡大 (1)和牛繁殖基盤維持拡大のため、JAと連携した新 規参入・経営転換支援による増頭推進	繁殖雌牛50頭
(2)分娩事故軽減の為の牛温恵等 I C T 機器導入推進 (3)地域のクラスター協議会への参加 (4) J A 畜産経営継承支援事業を周知・活用	2 農家 1 クラスター 実施
2. 和牛子牛高値販売に向けた指導取組強化 (1)岡山和牛子牛資質向上対策協議会と連携し、データ分析に基づく生産指導による推奨子牛「おかや	認定率25%以上
ま四ツ☆子牛」認定率の向上 (2)和牛子牛の規格向上に向けた普及・啓発活動	各部会(継続)
3. 県産畜産物の直接販売事業の強化 (1)新たな直販事業(直販店舗)の展開により、消費 者への直接販売の拡大	出店直販店舗の運営強化と 販売量の拡大
(2)他業種と連携し、畜肉を利用したハム・ソーセージ 等並びに鶏卵を利用したスイーツ等の開発と販売	食肉1品目(金額:100万円) 鶏卵1品目(金額:20万円)
(3)ブランド認知向上に向けた首都圏での県産和牛肉 の販売	30頭
4. 農業の生産力向上に向けた耕畜連携の推進 (1)飼料米・SGS等を活用した、耕畜連携による循 環型農業の推進	3,350トン(SGS含む)



平成30年度重点事業について



おかやま酪農業協同組合

I 基本方針

我が国の情勢は、国外の要因で大きな混乱を受けない限り、昨年に引き続き堅調な経済成長が期待できる。世界経済、日本経済とも予想以上に好調で好景気にも拘わらず物価が上がらない「適温経済」で推移している状況にある。

平成30年度の我が国の酪農は大転換を迎える初年度となる。昭和41年度から50年余りにわたり酪農を支えてきた加工原料乳生産者補給金等暫定措置法(不足払い法)が廃止され、今年度から平成29年6月に改正された畜産経営の安定に関する法律(改正畜安法)に基づき運用する事となった。

中国生乳販連では国が指導するコスト合理化業務推進計画に沿って、今年度から乳量データ収集システムの稼働が始まっている。これは集乳車設置の電磁流量計による集乳データを、毎日中国生乳販連が把握することにより乳業メーカーへ円滑に生乳供給が可能となり需給調整と有利販売の一翼を担うことが期待されます。

このような情勢の中、おかやま酪農協としても中国生乳販連と連携し、引き続き生産基盤の確保と収益性の向上を図るため、畜産クラスター事業を始め様々な補助事業を活用すると共に暴騰を続ける北海道初妊牛対策として県内産後継牛の確保を推進し安定経営に向けた対策を最重要課題として取り組んでまいります。

事業重点推進方法

- 1. 生乳生産量93,000t、購買取扱数量 69,500t、流通取扱頭数8,800頭以上を 目標として取り組みます。
- 2. 生乳の安全・安心(ポジティブリスト制)確保に取り組みます。
- 3. 販売不適合乳の発生を防止するため、 脂肪率3.5%以上の堅持及び体細胞30万 以下に対する生産者意識の向上に努めます。
- 4. 財務の拡充を図ります。
- 5. 中販連、全酪連と連携し、事業推進を 強化します。
- 6. 行政、諸機関の指導・情報・補助事業 等積極的に取り組みます。

Ⅱ 各事業の運営方針

1. 生産支援事業

後継牛確保対策として、自家保留牛助成を継続すると共に、クラスターET事業に取り組み、後継牛確保と和牛生産による収益の向上に努めます。

飼料自給率向上を図るため稲WCS・県産トウモロコシサイレージの利用を推進し、安定的な供給に努めます。

新規就農者の確保と担い手育成に努めます。

2. 酪農ヘルパー事業

おかやま酪農ヘルパー利用組合との相互 理解の上でヘルパー事業を推進します。

円滑なヘルパー派遣を行うため、専任及 び臨時ヘルパーの確保に努めます。

3. 改良登録・精液・牛群検定事業

乳牛の遺伝的改良に取り組み、個体の生涯生産性向上を図ります。

第15回全共に向け個体の改良推進に取り 組みます。

4. 診療・受精卵移植事業

繁殖成績の向上を目的として、超音波画像診断装置を活用した繁殖健診を継続します。 採卵・移植技術を利用し、優良乳用雌牛の確保やIVF産子(和牛)の生産による収益性の向上を図ります。

5. 乳牛流通事業

県補助事業に取り組み県産後継牛の増産 に努めるとともに、預託事業・搾乳素牛導入 事業(高品質乳牛導入事業、乳質改善対策事 業、搾乳素牛確保支援事業)に取り組み、生 産基盤の確保と酪農経営の安定に努めます。

6. 販売事業

中国生乳販連が取り組む農業競争力強化 プログラムの中での指定団体の機能強化を 積極的に支援します。

生乳の安全・安心を更に確保するため、 抗生物質残留検査等の内容・精度の向上を 実施します。

7. 購買事業

全酪連や組合内各部署と連携し、指導購買に重点を置いた事業推進を行ないます。

8. 経理

組合財務の安定と健全性に努め適正な運営を図ります。

9. 経営支援事業

国のクラスター事業や岡山県の支援を受けながら中酪事業を推進し、経営の安定と 生産性向上を図ります。

10. 特別対策室

組合員の経営安定と酪農収益の安定・向 上支援に努めます。

11. 経営管理

コンプライアンス態勢の強化と不祥事未 然防止の強化に努めます。



平成30年度重点事業について



一般社団法人岡山県畜産協会

①健全な畜産経営体を育成するための経営 診断・指導及び担い手・女性経営者の育成

○畜産経営技術高度化促進事業(県委託)

県が策定した「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための計画」の達成のため、畜産農家の経営診断、酪農経営支援チームによる経営改善指導、岡山和牛の資質向上と増頭を図るための四ツ☆子牛を推進します。(経営診断等支援40戸)

○女性・リタイア世代等就農定着等推進事業 (中畜受託)

酪農経営の担い手となる後継者や新規就 農者等の個々のスキルアップと、経営の担 い手としての労務管理のポイントや経営者 としての心構えを身につけるための研修会 や日常の経営支援を行います。

○和牛の担い手高度化支援強化事業

(全国競馬・畜産振興会補助 H30~32)

和牛入門講座を開設し、他産業あるいは 畜産他部門からの新規就農者を発掘・育成 するとともに、参入間もない繁殖経営者を 対象に和牛未来塾を開催します。併せて経 営診断と経営計画の作成を支援し、意欲と 技術に富む担い手を支援します。

・受講者(H19~29 延べ106人うち新規 就農19人)

○畜産女性経営者育成等事業(中畜受託)

若手女性経営者を対象に経営管理や飼養 技術等について勉強会を開催するととも に、他県との情報交換等を行います。

○畜産特別資金推進指導事業(中畜補助)

資金借受者の経営体質強化のため、経営 分析に基づく指導を実施します。(濃密指 導2戸、現地指導4戸他)

②酪農肉用牛振興対策

○畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (畜産クラスター機械導入事業、中畜受託)

畜産クラスター計画に基づき、生産コストの低減、畜産物の高付加価値化、飼料自給率の向上を通じた畜産経営の収益性の向上に必要な機械装置の導入を希望する経営者の要望書及び申請書の取りまとめ等を行います。

- ○酪農経営体生産性向上緊急対策事業 (楽酪事業、中畜受託)
- 〇酪農労働省力化推進施設等緊急整備事業 (楽酪GO事業、中畜受託)

酪農の労力負担軽減に資する機械装置の 導入や施設整備を希望する経営者に対し、 導入希望調査を実施し、要望を取りまとめ ます。

○酪農経営安定化支援ヘルパー事業 (機構補助)

ゆとりある生産性の高い酪農経営の実現 及び担い手の確保を図るため、酪農ヘル パー人材育成支援、傷病時利用時の負担軽 減等利用組合の強化を支援します。

〇肉用牛経営安定対策補完事業

(機構補助)

肉用牛ヘルパー活動の推進や中核的担い 手の育成と増頭、簡易牛舎等の整備を推進 します。(予定頭数290頭)

〇飼料自給率向上対策事業(県委託)

自給飼料の生産・利用技術研修、給与流 通体制の検討、コントラクターの利用調整 活動を行います。

〇飼料生産型酪農経営支援事業 (国補助)

環境負荷軽減に取り組む酪農家に対し、 奨励金を支払います。

○畜産動産担保融資活用推進事業(機構補助)

中央畜産会が作成した「畜産ABLの円 滑な導入・定着のためのマニュアル」に基 づき融資事例の組成とモニタリング・バッ クアップスキームの構築を行い活用を拡げ ます。

③価格安定対策

○肉用牛肥育経営安定特別対策事業 (機構・県補助)

肉用牛肥育経営の安定化と肉用牛生産基盤の拡大に資するため、出荷された肥育牛の収益が生産費を下回った場合、造成した基金を取り崩し、差額の9割を肥育補填金とし交付します。

〇肉用子牛生產者補給金制度(機構·県補助)

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格 を下回った場合、生産者に対して生産者補給 金を交付し、肉用子牛生産の安定化等を図 ります。(保証基準価格-黒毛和種341千円)

〇肉用牛繁殖経営支援事業 (機構補助)

肉用子牛の四半期別の平均売買価格が発動基準(黒毛和種46万円)を下回った場合、子牛に対して、発動基準を下回った額の3/4を交付します。

○養豚経営安定対策事業(機構・県補助)

肉豚経営の安定化を図るため、粗収益と 生産費の差額の8割を補填金として交付し ます。

④家畜伝染性疾病の発生防止、衛生管理の 向上等自衛防疫の推進

○予防注射事業(協会)

家畜の伝染性疾病の発生を防止するため 牛異常産3種混合等のワクチン接種を計画 的に実施します。

○家畜生産農場清浄化支援対策事業(国補助)

牛白血病の陽生牛を確認するための検査 及び牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD) の感染を防止するためのPI牛摘発検査、 ワクチン接種、淘汰に対する助成並びに牛 異常産ワクチンの接種を推進します。

○特定疾病自衛防疫推進事業 (県補助)

鶏ニューカッスル病など各種予防注射を 計画的に実施します。

〇農場HACCP取組体制緊急強化事業 (中畜受託)

農場HACCP認証(GAPを含む)取得 方法、養鶏農場の先駆的事例の講演会、普 及推進会議及び農場の認証取得のための構 築指導を実施します。

- ・認証申請予定2農場
- ·岡山JA畜産(株)等8農場の構築指導

⑤死亡牛のBSE検査の補完業務等 (H27年度~、48ヶ月齢以上)

○家畜衛生管理センター維持管理業務 (県委託)

死亡した牛のBSE検査のため、集荷採 材保管施設の維持管理を受託します。

〇牛疾病検査円滑化推進対策事業(国補助) 死亡牛の円滑な処理を進めるため、農家 に輸送費、処理費を補助します。

⑥生乳検査並びに乳質改善指導

〇生乳検査受託事業(中販連委託)

中国5県で生産される生乳の格付検査を 月3回行う他、生産者ごとの乳成分や細菌 数の検査等を実施し、生乳の公正かつ円滑 な取引に寄与します。

また、牛群検定農家の個体別成分検査や 指導検査を実施し、飼養管理の改善や乳質 向上に努めます。

事業の詳細については、電話でお気軽にお尋ねください。

企画管理部 086-221-0511

経営支援部経営対策班 086-222-8575

// 価格対策班 086-234-5981

家畜衛生部 086-232-8442

畜産農家からの相談対応一覧(畜産協会)

田住辰家がりり作談別心一見(田庄励五)											
†	目談内容	対 応	窓口								
	・畜産を体験したい	・オープンスクール、インターンシップ、酪農教育ファーム等受入先の紹介									
①新規就農	・就農したい	一般改整備や機械等人等補助事業、融質制度の 紹介									
	・就農直後の経営をサ ポートしてほしい	・経営指導、知識・技術習得の研修会の開催									
	・若手経営者が勉強 する機会がほしい	・先進的経営研修への参加、他県経営者との 交流									
	・畜舎、機械、草地 などを整備したい・家畜を導入したい	・各種補助事業、融資制度の紹介									
©ØØ₩###	・自給飼料の生産、収穫作業を委託したい	・コントラクターの紹介									
②経営安定	・稲WCSを生産、利 用したい	・関係機関と調整、マッチング	<肉用牛 (肥育)、								
	・法人就農者を確保 してほしい	・県外での就農相談会への参加									
	・価格安定事業に参 加したい	・相談への対応	経営対策班								
	・経営の改善を図り たい	・経営内容の調査・診断・フォロー ・酪農経営支援チームとして課題に対する指導	<肉用牛(繁殖)、 養豚関係>								
	・新規投資をしたい										
	・青色申告をしたい	・地区別研修会の開催	TEL086-234-5981								
	・法人化を図りたい	・関係機関と連携して対応									
③経営改善	・労務管理等につい て勉強したい	・社会保険労務士による労務管理、経営者の心 構え等の研修を開催									
	・負債を軽減したい	・畜産特別資金や各種融資制度の紹介、関係機関と連携した経営改善指導									
	・エコフィードを利 用したい	・食品製造業者から出る余剰食品等をホーム ページで紹介									
⑤女性の経営 参画推進	・女性が勉強できる 機会がほしい	・先進的経営研修の開催、県内外の研修への参加、他県の畜産女性との情報交換会の開催 ・畜産女性の会(おかやまフォーベルネット) として中央研修への参加、他県畜産女性との 情報交換会の開催	経営対策班								
⑥六次化商品 開発	・六次化商品を開発したい	・研修会の開催、畜種間の情報交換会、事業協力者の紹介	経営対策班								
	暑熱対策をしたい	・石灰塗布機の貸し出し、管理方法・補助事業 の紹介									
⑦家畜衛生	・伝染病の清浄化を したい	・白血病の検査、ウイルス性下痢・粘膜病の PI 牛の検査、淘汰等の料金の一部助成	家畜衛生部								
対策	・農場HACCPの認 証を取得したい	・希望農家に対し構築指導	TEL086-232-8442								
	・予防注射を実施し てほしい	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
8環境対策	・堆肥の販売先を確 保したい	・ホームページへ畜産農家の堆肥情報を掲載 し、購入希望者とのマッチングを実施	経営対策班								
⑨生乳検査	・生乳の品質を調べ てもらいたい	・農協等からの定期的な検査の外、依頼検査に も対応	生乳検査センター TEL0868-54-7366								
		1. F-471	- お胆い合わみ下さい								

お気軽にお問い合わせ下さい。

〔家保のページ〕

牛白血病清浄化への取組み事例について

岡山家畜保健衛生所

くはじめに>

今回は、農業高校でも歴史が長い岡山県 立高松農業高等学校の牛白血病清浄化への 取り組みについて紹介します。

高松農業高等学校は、明治32年に「岡山県農事講習所」として開校し、以来120年の歴史ある学校です。開校当初から畜産関係の獣医科がありました。大正11年には、「岡山県高松農学校」と改名され、畜産科となりその後、獣医畜産科、第二次世界大戦の頃は第二部獣医科、獣医畜産科と科名が変更され、昭和24年には現在の校名となり、畜産科から畜産科学科になっています。

このように畜産関連の学科をもち、畜産に携わる人を教育し、社会に畜産経営者はもとより多くの獣医師や畜産関係の人材を輩出してきました。

現在、畜産科学科では約20頭の乳用牛を 飼養していますが、平成30年3月に牛白血 病の全頭検査を実施したところ、約70% の飼養牛が牛白血病ウイルス(以下BLV) に感染していることが判明しました。以後 清浄化へ向けて家畜保健衛生所と検討会を 実施し、対策に取り組んでいます。

<牛白血病とは>

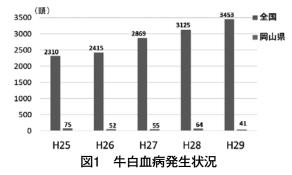
BLVによる牛白血病は近年全国的に増加傾向で、生産現場での被害も増加しており、県内においても今後の発生拡大が懸念されるところです。

牛白血病は、感染しても長年発症せず無症状のまま経過することも多い病気です。気づかないうちに農場内で感染が拡大して経済損失を招くことがありますので個々の農場では早期に感染状況を把握し、対策に取組むことが重要です。

1 発生状況

全国の発生頭数は年々増加し、昨年は

3,453頭の発生がありました。また、岡山県では大幅な発生数増加は見られませんが、毎年数十頭の発生があります(図1)。



2 病気の特徴

BLVに感染した牛のうち数%が発症、約30%がリンパ球増多症を引き起こします。 発症牛の症状はリンパ節の腫脹や眼球突出、元気消失、乳量減少、下痢など様々ですが感染してから発症まで数年を要する場合もあり、感染牛は生涯ウイルスを持ち続けて長期間感染源となります。

また、牛白血病はと畜場で摘発されると 全部廃棄の対象となります。

3 感染経路

感染牛の血液、乳汁を介して感染するほか、胎盤や産道を介して母牛から子牛に感染することもあります。

4 感染防止対策

治療法やワクチンはなく、農場内では次の対策を重点的に行い、感染源(汚染血液等)と接触させないことで感染拡大を防ぎます。

- ① 注射針、直検手袋、プローブカバー (超音波画像診断) の1頭毎の交換
- ② 除角器具等血液が付着する道具の 1 頭 毎の消毒
- ③ 防虫ネット設置や感染牛の分離飼育 (吸血昆虫対策)と非感染牛からの作 業開始
- ④ 感染母牛の初乳の加温または凍結、 代用乳の利用

5 清浄化に向けて

上記の感染防止対策を実施しながら陽性 牛の計画的淘汰を行うことと導入牛のBLV 感染の有無を確認することが重要です。

<高松農業高等学校の対策例>

1 農場概要

乳用牛19頭(成牛11頭、育成牛8頭)を 飼養するフリーストール農場(図2)で、 県内からの導入育成牛2頭のほかは全て自 家産です。

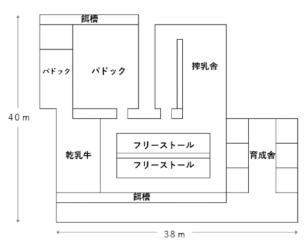


図2 農場見取図

2 感染状況 (陽性頭数/飼養頭数)

成 牛:10/11 育成牛:3/8 全体:13/19

(平成30年3月に全頭検査実施)

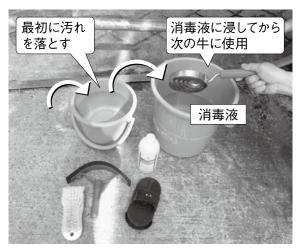
3 対策内容

①陽性牛と陰性牛を農場内で隔離し、飼養スペースの間に防虫ネットを設置して吸血昆虫による感染拡大を防止しています。



分離飼育と吸血昆虫対策

- ②普段の作業は陰性牛から実施し、搾乳時も待機スペースや搾乳舎にネットを設置して陰成牛・陽性牛は分けて搾乳しています。
- ③出血を伴う恐れのある処置を行う際に は、器具等を一頭毎に消毒して使用して います。



出血を伴う処置への対応

また、高松農業高等学校では、家畜伝染病が発生した場合、6段階のレベルで家畜防疫対策を取り決めています。詳しい事は記述しませんが、レベル5以上になると生徒実習の一部停止や全校生徒保護者への現状報告など生徒の安全性の確保や疾病の蔓延防止に努めています。

く最後に>

牛白血病は感染しても全ての牛が発症するわけではなく、また発症した場合も無症状のまま長期間経過するため気づかないうちに農場内に感染が拡大して多大な被害をもたらすことがあります。

高松農業高等学校のように普段から高い 衛生意識を持って飼養管理を行い、まずは 全頭検査を実施して農場の感染状況を把握 し、できる対策から実施していきましょう。

なお、検査等のご要望がありましたら農場を管轄する家畜保健衛生所まで連絡をお願いします。

〔技術のページ〕

平成30年度 畜産研究所の主な試験研究課題等について

畜産研究所 経営技術研究室 企画開発グループ

畜産研究所では、従来からの「ブランド 力の強化」、「環境との調和と気象変動への 対応」、「生産性の向上」を重点分野に定め、 研究開発を進めることとしています。

平成30年度は、この「ブランド力の強化」 のための新たな重点課題を設定し、消費者 ニーズに合致した取り組みを一層推進しま す。

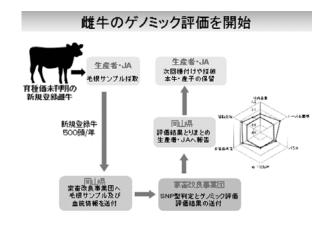
得られた研究成果は、現地での技術相談や指導のみならず、一般県民に向けた情報発信等を通じて普及定着を図ります。

今年度は、10の試験研究課題と12の各種 事業に取り組みますが、その中で重点的に 取り組むこととしている4課題についてご 紹介します。

1 岡山和牛におけるゲノミック評価による選抜・育種改良の実用化

現在、和牛産肉能力評価では育種価を用いていますが、評価まで5~6年かかることや、産子成績がない場合は両親からの推定のみで正確度が低いという課題がありました。

このため、種雄牛の選抜では評価が早く、 正確度も高い遺伝子解析によるゲノミック 評価を一つの指標とし、平成29年度では繁 殖雌牛から検査材料をサンプリングし、ゲ ノミック評価を行いました。引き続き今年 度もゲノミック評価を行い、その評価精度 の向上と評価対象項目の拡大を図る研究を 進め、生産現場で活用されるように努めて まいります。

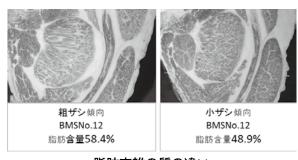


2 「おいしさ」を指標とする岡山和牛の 改良事業

消費者の間では、健康志向の高まりなどから、「脂肪交雑偏重」に疑問を呈する声があります。そこで、新たに行き過ぎた脂肪交雑を改善し、脂肪のオレイン酸割合を高め「おいしさ」を指標とする岡山和牛の改良に取り組みます。

その方法として、脂肪交雑の質(小ザシ・脂質)についての遺伝的能力(育種価・ゲノミック評価)を算出します。また、味覚センサーにより「おいしさ」の指標となる項目の数値化を図り、「おいしい和牛肉」生産のための改良を進めます。

さらに、余分な脂肪を入れないで、おい しさを高める生産技術(飼養管理技術等) についても研究を進めます。



脂肪交雑の質の違い

3 和牛産地を支える水田里山の戦略的 展開

和牛生産県である本県では、作業負担軽 減のための飼養管理技術の向上が課題と なっています。そこで、平成28年度から稲 WCSなどの地域産自給飼料と、醤油粕な どの未利用資源を活用した、和牛向け低 コスト発酵TMRの開発を進めています。 40Lのビニール製小袋と、100Lのフレコン バック仕様の2種を試作したところ、どち らも良好な発酵を示し、特に小袋について は、取り扱いが容易で、利便性が優れ、育 成牛への給与実証試験でも嗜好性が良く、 発育も良好な結果が得られました。現在 行っている繁殖雌牛への給与実証では問題 点は認められていません。今後は、生産農 場での検証と、地域TMRセンター、流通 体制の整備を検討していきます。

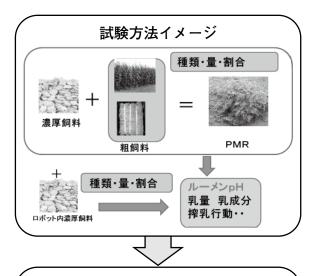


繁殖雌牛へのTMR給与試験

4 搾乳ロボットでの飼養管理技術の検討

搾乳ロボット利用農家では、牛がロボットで給与される濃厚飼料と、牛舎内で給与する混合飼料(PMR)の2種類の飼料で飼養管理されています。しかし、搾乳ロボットでの濃厚飼料多給でルーメンpHが下がり、牛の健康に悪影響を及ぼすことが問題となっています。そこで、この課題では、PMRの原料や濃厚飼料について検討しています。

平成29年度において、PMRの栄養濃度を高めロボット室での濃厚飼料給与量を減らした当所の試験を実施したところ、搾乳行動に大きな影響が認められませんでした。今年度は、さらにPMRの粗飼料を稲WCSやトウモロコシWCS、乾草に代えた場合のルーメン環境や乳成分等への影響を調べる計画です。また、ルーメン内のpHを変動させにくい濃厚飼料の開発も行うこととしており、搾乳ロボット導入農家が、より健康に牛を飼育できる栄養管理技術の確立を目指しています。



効果

- ・搾乳ロボットでの高泌乳牛の飼養 技術確立
 - ・・・搾乳ロボットの導入農家増
- 搾乳ロボット利用農家の経営安定、 収益向上
- •TMR農家での技術の応用
- 自給粗飼料の利用の拡大

以上、簡単ではありますが、平成30年度 の重点課題について紹介しました。今後と も農家に役立つ研究成果について、様々な 機会を利用し普及啓発に努めていきます。

〔県民局だより〕

酪農から肉用牛繁殖への経営転換に注目!

美作県民局畜産第二班

今回は、真庭市落合地区で酪農から肉用 牛繁殖へ経営転換した農家を取材しました ので紹介します。

1 経営転換をした農家 (6戸)

6戸のうち5戸は、「搾乳が体力的にきついこと」が理由でH21年から肉用牛を飼養し始め、2~5年かけて酪農を廃業し、肉用牛繁殖へ経営転換しました。1戸は、従来から酪農と肉用牛繁殖の複合経営でしたが、経営規模を縮小するため、H26から肉用牛繁殖に一本化しました。

農家名	繁殖雌牛	飼料作付面積
石原基好	11 頭	トウモロコシ 1ha イタリアン 0.7a
今石勝吉 今石勝美	40 頭	イタリアン 3.5ha
芦田宣朋	28 頭	イタリアン 2.5ha
藤田耕平	18 頭	イタリアン 1.6ha グリーンミレット 1.6ha
福島章晴	22 頭	イタリアン 3ha グリーンミレット 1.3ha
小瀬仁志	10 頭	イタリアン 1ha





上:石原さん 下:左から今石勝美さん、藤田さん、芦田さん、福島さん、小瀬さん

2 経営転換して…

① 酪農時代の技術を有効活用!

牛舎には酪農で使用していたバンクリーナーが設置されており、作業の省力化につながっています。



バンクリーナー (福島さんの牛舎)

また、乳牛と和牛で共通するのは、繁殖 管理や哺育管理です。特に芦田さんと藤田 さんと福島さんは酪農のときに後継牛を自 家育成していたため、その技術を活かし、 早期離乳による人工哺育を実施していま す。

一方で、和牛子牛は体が弱く、下痢等の 疾病にかかりやすいので、子牛の飼養管理 には細心の注意を払っています。

② 自分で体測やってます!

和牛の飼養を開始した当初は月1回、 JAまにわ、家保、県民局による巡回指導 を徹底しました。巡回時には体高や胸囲、 腹囲、推定体重を測り、出荷前まで子牛の 発育を確かめ、飼養管理方法の見直しや工 夫をするよう指導しました。その指導の成 果もあり、各自で体高計を木で作ったり、 メジャーを購入したりして今でも測って子 牛の発育を確認しています。

③ 高値で購入してもらう工夫!

子牛市場において高値で肥育農家に購入 してもらうために、I)多様な品種の草を 給与してよく食べる牛、II)病気をしない 牛、Ⅲ)毎日ブラッシングをして見た目が きれいな牛づくりを目指しています。

共進会について、「共進会は100点の牛を イメージできる」と福島さん。理想の牛を イメージできるように積極的に共進会に出 品しています。

④運が良かった!

ちょうど転換をした時期に和牛子牛の価格が高くなったため、肉用牛繁殖経営を開始するには絶好のタイミングでした。

⑤補助事業も有効活用!

経営開始の際には、市単独事業の「真庭 市優良基礎雌牛導入保留事業」を活用し、 育種価の高い繁殖雌牛を導入しました。

⑥みんな仲良く情報共有!

和牛の交配について、初めは種雄牛の名前や系統をJAまにわに指導してもらいました。今ではかなり詳しくなり、種雄牛について情報交換し、良いと思ったものをみんなで共有しています。

⑦肉用牛繁殖経営のここが不安…

収入がない月があることや、子牛価格の 変動に不安があります。

⑧牧場はこんな感じ!

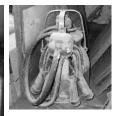


今石さんお手製の子牛用の分房



芦田さんの木造牛舎:中学校の旧校舎の一部を改修





牛舎には酪農時代の搾乳機器がありました

3 JAまにわから一言

子牛市場では、地域で発育のバラつきが あると地域全体の価格が下がってしまいま す。巡回指導は地域で出荷する子牛の発育 レベルを一定にするために有効です。

この地域での経営転換時の巡回では、関係機関が指導した内容に対して、農家がすぐに実行したことで飼養管理を改善し、転換がうまくいったと考えています。たとえば、個体管理をするため子牛用の分房を設置するよう指導すると、分房を作るノウハウを持った今石さんが石原さん、芦田さん、福島さんの子牛用の分房を作ってあげました。

指導の成果は子牛市場成績にも表れており、H29年度の四ツ☆子牛認定率は、取材した農家6戸の平均が38.8%であり、JAまにわの平均29.9%、県平均18.5%よりも上回っています。また、この地域の特徴はみんな仲が良く、良いものは共有し、誰かが困っていれば助け合えるところです。

4 おわりに

今回の取材で特に、何でも相談できて、 困ったときには助けてくれる仲間の存在は 大きいと感じました。このような人・地域 とのつながりや多様な情報を得るための人 脈は、経営転換だけでなく、今後畜産業を 経営していくためにはとても大切なことだ と思います。このようなことも意識しなが ら、生産者を支援していきたいと考えてい ます。

〔畜産現場の声〕

酪農から和牛繁殖へ

真庭市古見 福島章晴



もともとは父が始めた酪農を昭和49年から手伝いだしたのが始まりでした。平成21年から和牛のETをジャージー牛に種付けをし、子牛のメスを残してオスは販売し、経営を続けていました。平成27年5月に酪農を完全にやめて、和牛の繁殖のみに切り替えました。

最初は経産和牛13頭から初めて、今では 22頭を飼育しています。その内、自家産は 18頭で残りは導入牛でスモール2頭、優良 牛2頭となっています。

飼育に当たり、日頃気を付けていることは、牛にストレスをなるべくかけないようにすることです。ストレスをかけないように育てる1番大事な要素は、牛舎を常に清潔に保つということです。

牛床をきれいにするだけではなく、オガ 屑にチップと藁を敷いて牛舎全体をよく乾 燥させています。

次に大事なことはエサについてです。理想としているのは、オーソドックスな普通のエサが良いと思っていて、4町ある畑で自家栽培をしています。

また、牛の体調については特に気を付けています。異常に気付いたら早めに獣医さんに診てもらうようにしていますし、一年

一産に努めています。

子牛については生まれてすぐに母牛から離し哺育を始めますが、3ヶ月間は特に下痢・感染症に気をつけています。この3ヶ月間は妻が一生懸命育ててくれていて、離乳の頃には濃厚飼料を日に3kg程度食べられる、強い子牛に育てたいと思っています。

子牛を育てることで常に大切に思っていることは、自分なりのこだわりを持つということで、最高の和牛の姿形を思い描き、出荷時、私の理想の100%に近づく大きさ・姿形になるよう育てています。

また、出荷後、買ってくださった方が飼育し易い牛、健康な牛に育てたいといつも思っています。子牛は市の時だけではなく、毎日朝晩必ずブラッシングをするよう心がけていますが、世話を焼きすぎて、少し甘えん坊に感じることもあります。



今後については、今と同じように牛に愛情を込めて育てていきながら、資質の向上も図っていきたいと考えています。

今後も地区の皆様といっしょになって、 妻と一緒に和牛を育てていきたいと思いま す。

繁殖コンサルタント~獣医師の新たな挑戦~

おかやまETクリニック 篠田 剛

おかやまETクリニックは、平成26年に 開業した繁殖管理のコンサルタントです。 元岡山県家畜保健衛生所職員で獣医師でも ある篠田さんをはじめ繁殖の専門家3人が 受精卵移植(ET)など最新の技術を活用 して酪農・肉用牛経営の繁殖成績向上のサ ポートを行っています。

1. 主な事業内容

①牛群の繁殖管理

月2回以上の繁殖検診で、牛群全体の繁殖成績向上・安定化を図っています。各農場の繁殖情報をもとに作成した管理台帳で、妊娠鑑定や不受胎牛への処置を行うほか、大規模農場ではホルモン剤を用いた同期化処置も行います。農家から頼まれた牛だけでなく、データを元にした検診により、成果が上がっています。

②各繁殖技術の提供

乳牛・和牛卵のETや人工授精(AI)を行っており、繁殖検診を受けている農家では、牛の状態や畜種のニーズに応じて最適な方法を提案しています。

また、採卵や余剰卵の凍結および受精卵の買取・販売も行っています。

2. 受胎率向上のためのこだわり

近年和牛子牛が高騰していることから、 乳牛への和牛受精卵の移植が増加していま す。しかし、凍結卵の受胎率は4割程度で 新鮮卵の5~6割に比べ低いため、受胎率 向上のため新鮮卵での移植を増やしていま す。新鮮卵を確保するため、平成27年から は自ら乳牛3頭・和牛6頭を購入し農家に 預託して受精卵を生産し新鮮卵での移植を 行っています。受胎率向上に加え、凍結工 程にかかる費用が抑えられるようになりま した。また、AIで受胎しない牛へETを実 施して効率的に繁殖成績を向上させること にも取り組んでいます。

そして、こういった繁殖技術そのものも重要だが、繁殖成績に一番影響するのは飼養管理である、というのが篠田さんの考えです。 将来的には、飼料設計などへの助言も含めた一体的なサービスを目指しています。



代表の篠田 剛さん

3. 事業展開

県内農家を中心に広島や兵庫にも顧客を持ち、平成28年のET実施頭数は854頭、 採卵頭数は47頭で、翌年にはETが1,379頭、 採卵頭数は約120頭まで拡大しています。

「採卵・移植+牛群のコンサルティング」 を実施している企業は、中四国・関西では 存在せず、引く手数多の状態となっていま す。大規模農家では、繁殖部門を外部化し て省力化を図る経営体もあります。また、 和牛価格高騰でETの需要が増大しており、今後もニーズは増え続けるものと思われます。

4. 農家に喜んでもらうために

課題は、若い獣医師の採用です。競合のない分野であるだけに、繁殖を行える獣医師を確保することは難しいようです。

今後は、収支の大きい受精卵移植部門は

法人化し、篠田さん自身は牛群の繁殖管理 に力を入れていきたい、と考えられている そうです。

現場に出て農家の役に立つ仕事がしたいという想いと、ある農家の「繁殖専門の獣医師がいてくれたら…」という声からクリニック開業への道を選んだ篠田さんは、「農家に喜んでもらえること」を目標に日々邁進されていました。

(公財)中国四国酪農大学校第1牧場(ホルスタイン種)が 県内2例目となる農場HACCP認証農場に認定されました!

(一社) 岡山県畜産協会

(公財)中国四国酪農大学校の第1牧場 (ホルスタイン種) が、平成30年6月4日 に農場HACCP認証農場に認定。平成29 年1月16日に認定された第2牧場(ジャー ジー種) に続く県内2例目の認証農場とな ります。第1牧場は、ホルスタイン種約80 頭、和牛約15頭を飼育し、繋ぎ形式のパイ プラインでの搾乳方式をとっており、家族 経営タイプの実習農場であります。関場長 は、『作業手順、危害防止対策を明確化し 運用することで、全ての職員が同じ対応が できるようになり、生産物の安全性確保、 品質維持、生産性向上につながっている。 衛生管理目標や生産目標を具体的に設定 し、継続的なモニタリングを行って現況を 明示することで従事者の生産意欲向上がは かられ、問題点の早期発見・早期対応はロ スの低減に大きな効果がある。また、認証 農場であることの自覚と第3者機関から定 期的に査察を受けることで従事者のコンプ ライアンス意識が向上する。効率的な作業 体系は働き方改革にも期待できる。』と言

われております。本年度からは、学生教育にも農場HACCPの講義を本格的に取り入れられます。卒業する学生のほとんどが酪農・畜産の生産現場に従事することから、学生を通じて農場HACCPの全国への普及が期待されます。



[Q&AJ-t-]

知って得する鳥獣害対策

(一社)岡山県畜産協会

鳥獣害対策には、動物の行動特性を知り、ポイントを押さえた侵入防止柵の設置と管理をすることが大切です。

~ワイヤーメッシュ柵編~ 柵に裏表ってあるの?

内側に横棒がくるように設置します。 逆向きに設置してしまうと、イノシシが手 前に引っ張って溶接を外してしまうことが あります。



接地面の強度を上げる方法は?

廃パイプを下部に固定することで、侵入 防止になります。

下にスキマがあると、そこから潜り込んでしまうので、しっかり固定しましょう。



柵の合わせ目はどうすれば良いの?

ーマス分重ね合わせてスキマを作らない ようにしましょう。

合わせ目にスキマがあると、そこから押 し広げられてしまいます。



~電気柵編~

昼間や作物のない時期は、通電しなくても 大丈夫?

イノシシやシカは夜行性ではなく、人がいなければ、明るい時間にも出没します。 24時間通電が大切です。

また、収穫後は電気柵を撤去するか、撤去しないのであれば通年通電するようにしましょう。

イノシシは見慣れない物があると、鼻を 使って安全を確認します。鼻は電気を通し すいので、通電した柵線を鼻で確認したと きに電気ショックを与えられます。しかし、 通電していない時期に安全確認を終えた個 体は、鼻で触ることなく柵線の間をすり抜 けていくようになります。背中は電気を通 しにくいので効きません。



(資料提供 西日本農業研究センター)

〔農大生のプロジェクト研究紹介〕

大規模和牛繁殖経営における母牛モニタリング方法の検討

岡山県農林水産総合センター農業大学校 畜産課程和牛コース 金平 輝久

1 はじめに

繁殖牛の栄養状態は繁殖成績に大きく影響するため、栄養状態を適切に判断して飼養管理することが重要です。栄養状態の判定には、全国和牛登録協会の栄養度判定要領に準じ、牛体の6か所を触診し判定結果を平均した「栄養度」が用いられています。栄養度は1~9まであり、数値が低いほど痩せた状態を示します。

肉用牛繁殖経営の1戸当たり繁殖牛飼養 頭数は平成8年に3.6頭であったものが、平 成28年には12.9頭と約4倍になりました。近 年では1戸で300頭近く飼養する経営もあ り、今後も規模拡大が進むものと思われま す。大規模肉牛繁殖経営では個体ごとに6 か所を触診するのは難しく、より簡易な栄 養度判定法の開発が必要と考えました。

2 調査方法

岡山県農林水産総合センター畜産研究所で飼育されている黒毛和種繁殖牛を対象に、平成29年6月~8月まで1か月ごとに、栄養度を算出する際に測定する6部位の触

診を行いました。調査頭数は6月66頭、7 月23頭、8月29頭の計118頭です。

次に対象牛の「理想体重」と実際の体重との差を求め、各部位の触診結果との相関関係を調べました。なお「理想体重」は、全国和牛登録協会の正常発育曲線と σ (シグマ)値により算出しました。実際の体重が「理想体重」を上回るときは太っている、下回るときは痩せている・・・そんな感覚で考えてもらえればよいと思います。

3 調査結果

触診した結果と「現実体重―理想体重」の値(A値)との間には、測定全部位で有意な相関がありました。なかでも臀部とA値との間には高い相関関係が認められたため、臀部1か所だけ触診すれば栄養度判定はできるものと思われました(表1)。

そこで臀部のみを触診して栄養度を判定するやり方を「簡易栄養度判定法」とし、その有利性や問題、現場での活用について検討しました。

表1 各触診部位の測定結果と「現実体重-理想体重」(A値)との相関係数

全期間	き甲	背骨	肋骨	腰骨	臀部	尾根部	栄養度
相関係数	0.449	0.399	<u>0.455</u>	<u>0.467</u>	<u>0.550</u>	<u>0.397</u>	<u>0.541</u>

^{*}アンダーラインは5%の危険水準で有意。

4 簡易栄養度判定法の有利性と問題点

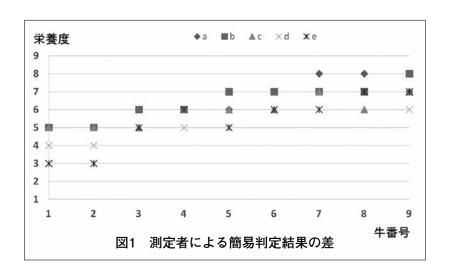
(1) 簡易栄養度診断法の有利性

畜産研究所にいる繁殖牛55頭を対象に栄養度による判定をしたところ、1頭当たり平均45秒を要しました。一方、農事組合法人伍協牧場の繁殖牛64頭を簡易栄養度判定法で判定したところ平均10秒となり、判定時間を大きく短縮できました。なかでも牛を連動スタンチョンで固定した状況では

5.5秒で判定が可能で、100頭規模の牛群でも10分程度で判定できることになります。

(2) 簡易栄養度判定法の問題点

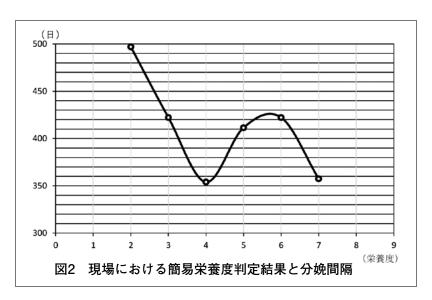
簡易栄養度判定法を5人で用いたところ、栄養度に応じた一定の傾向は確認できたものの、判定者によるバラつきが見られ、判断基準のマニュアル化が必要と思いました(図1)。



5 現場での活用可能性

農事組合法人伍協牧場に協力をいただき、同牧場の繁殖牛において、簡易栄養度判定法が現場で活用できるかを検討しました。その結果、4(1)で述べたように短時間で判定が可能であり、大規模肉用牛繁殖経営での活用が期待できる結果となりました。

さらに平均分娩間隔と栄養度の関係を検討したところ、栄養度4の牛の平均分娩間隔が353日と最も短く、それより栄養度が高くても低くても平均分娩間隔が長くなる傾向が見られました(図2。栄養度7は2頭の平均なので考慮していない)。



以上の結果について伍協牧場のスタッフの皆さんに報告したところ、①判定結果の個人差をなくす工夫が必要。②繁殖成績との関連は分娩後初回授精までの日数で検討すべき。との助言をいただきました。

6 終わりに

私は卒業後、肉用牛肥育経営法人に就職 します。今は肥育部門だけですが、今後は 経営の多角化による繁殖部門の導入も考えられます。その時には今回の結果を活用して貢献していきたいと考えています。

最後になりましたが、本調査を実施する にあたり、ご指導を頂いた畜産研究所の皆 様、ご協力くださった農事組合法人伍協牧 場、JA勝英の皆様に厚く御礼申し上げま す。

平成31年度入学 農業大学校学生募集概要

岡山県農林水産総合センター農業大学校では、学生を次のとおり募集します。

募:	集人	員	35名(うち推薦入学はおおむね7割)									
修	業 年	限	2ヶ年									
課 (:	コース	程.)	園芸課程(果樹・野菜・花きの各コース) 畜産課程(和牛コース)									
			推薦入学・一般入学共通									
			高等学校を卒業した者(平成31年3月卒業 学歴があると認められる者	見込みの者を含む)及びこれと同等以上の								
受 験 資		格	推薦入学	一 般 入 学								
			上記に加え、県内での就農意欲が高く、 高等学校長等が責任を持って推薦できる 者、かつ当農業大学校を専願する者	上記に加え、県内で農業を実践するにふ さわしい者								
願	書 受	付	平成30年8月29日(水)~9月12日(水)	前期: 平成30年10月17日(水)~10月31日(水) 後期: 平成31年1月4日(金)~1月16日(水) ただし、合格状況によっては後期試験を 実施しない場合がある								
提;	出書	類	 ・入学願書 ・履歴書 ・最終学校の調査書 ・身体検査書 ・志望動機及び将来計画書 ・写真2枚(うち1枚は履歴書に貼付) ・推薦書 ・返信用封筒(長形3号(12cm、縦23.5cm)) 封筒には392円切手を貼り、宛名を明記し、"簡易書留"と朱書きすること 	・入学願書 ・履歴書 ・最終学校の調査書 ・身体検査書 ・志望動機及び将来計画書 ・写真2枚(うち1枚は履歴書に貼付) ・返信用封筒 (長形3号(12cm、縦23.5cm)) 封筒には392円切手を貼り、宛名を明記し、"簡易書留"と朱書きすること								
入:	学 試	験										
(1)期		日	平成30年9月29日(土)	前期:平成30年11月16日(金) 後期:平成31年1月30日(水)								
(2)場	i	所	岡山県農林水産総合センター 農業大学校	岡山県農林水産総合センター 農業大学校								
(3)試 験 科 目			①筆記試験 小論文(1科目) ②面接	①筆記試験 必須科目:小論文(1科目) 選択科目:数学I、生物基礎、農業と 環境の中から1科目(基礎 的な計算問題を含む)								
(4)惡	験	米斗	無料	②面接 無料								
合格発表			平成30年10月12日(金) 前期:平成30年11月30日(金) 後期:平成31年2月8日(金)									
			農業大学校職員室前掲示板及び同校ホーム									
問い	合わ ⁻	せ先	岡山県農林水産総合センター 農業大学校 〒701-2223 岡山県赤磐市東窪田157 TEL(086)955-0550 又は、最寄りの農業普及指導センターにお問い合わせ下さい。									

なお、平成30年7月27日(金)、平成30年8月21日(火)にオープンキャンパスを開催しますので、 農業に興味と意欲のある若い方の参加をお待ちしています。 CHUGOKU SHIKOKU COLLEGE OF DAIRY FARMING



受付期間:平成30年10月1日~10月15日 試験日:平成30年10月26日(岡山会場) 10月29日(本校会場)

■一般1次募集

受付期間:平成30年11月12日~11月22日

試験日:平成30年12月3日

■一般2次募集

受付期間:平成31年2月1日~2月18日

試験日:平成31年3月4日

2年間を過ごしてみませ、 仲間との楽しい時間。 生たちとのふれあい、







7/23₉~24_® 8/16_®~17_®

7/26*~27* 8/20#~21*

8/8*~9* 8/23*~24





公益財団法人

2年間で酪農経営力を 身につけます! 酪農に必要な資格が 取得できます! 奨学金の制度も あります!

SEARCH!

中国四国酪農大学校

中国四国酪農大学校

GO!

〒717-0604 岡山県真庭市蒜山西茅部632 TEL (0867) 66-3651 FAX (0867) 66-3652

健康な行生づくりへの 一歩目はこれから!



弊社では、四十年余り培ってきた醗酵技術を用いることで、乳酸菌やその他の菌類を使用した良質な醗酵飼料を、肉用・乳用を問わず、全てのステージの牛に対して提供しております。

また、弊社ではこれらの技術を利用したオーダー 品の設計や生産、飼料米の粉砕などの原料の 加工も承っております。

原料を持込での加工依頼や、御要望の数量の 多寡を問わず、まずはお気軽に御相談下さい。

競爵飼料のパイオニア

フタバ飼料株式会社

〒709-084小 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1

TEL 086-953-0832 FAX 086-953-1870

E-mail : futabashiryo.co.jp

岸化学グループ

ck 株式会社 正和

岡山本社 〒712-8055 岡山県倉敷市南畝1丁目13番1号

広島事業所 〒738-0513 広島県佐伯区湯来町大字伏谷字今山137番58

福山事業所 〒729-3102 広島県福山市新市町相方1089-19

鳥取事業所 〒680-0906 鳥取県鳥取市港町51番地

津山事業所 〒708-1544 岡山県久米郡美咲町周佐1377-4

代表取締役 岸 小三郎

TEL 086 (450) 3807

FAX 086 (450) 4008

TEL 0829 (40) 5177 FAX 0829 (40) 5178

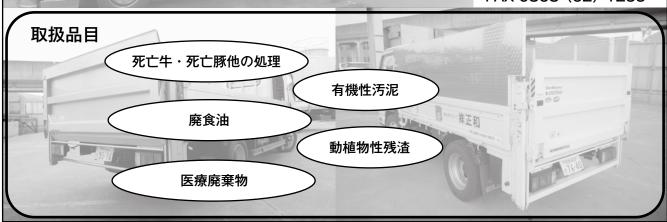
FAX 0029 (40) 5170

TEL 0847 (54) 2007 FAX 0847 (54) 2008

TEL 0857 (50) 1736 FAX 0857 (50) 1738

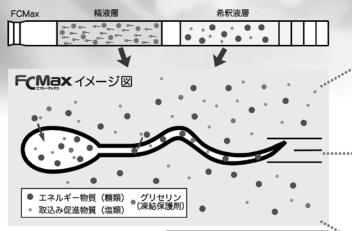
TEL 0868 (62) 1232

FAX 0868 (62) 1233



事業団の 性選別精液 Sort は、ここが違う!

 $Sort^{90}$ は、すべて受胎率が好評なFCMaxを用いて生産しています。



特許第 5738314 号:平成 27 年 4 月 商標第 5778973 号:平成 27 年 7 月 米国特許 US9,339,360:平成 28 年 5 月 カナダ特許 CA2,820,677:平成 29 年 3 月

FcMaxは-

精子活力が高い!

凍結融解直後に二層を混合した場合 インキュベーション3時間目の精子 活力は **FcMax** が有意に高い

精子生存率が高い!

凍結融解直後に二層を混合した場合 インキュベーション3時間目の精子 生存率はFCMaxが有意に高い

アクロソーム正常率が高い!

- 融解直後の生存かつアクロソーム 生存率が向上
- ·二層式の中でもFCMaxが最も効果が高い



- ※各人工授精事業体で提供している凍結精液の推奨融解条件は違います
- ※当団精液は、38℃の温湯で15秒間での融解を設定しております
- ※この条件を記した左記ステッカーをご用意しました
- ※ご希望の方に、各種雄牛センターからお配りしています

人工授精の受胎率を高めるために 以下のことを遵守してください

R畜改良事業団が提供するFCMax(Sort®)、および通常精液の取り扱い注意事項は同じです



- ▶必ず温度計とタイマーを使用しましょう
- ▶温度は38℃、融解時間は15秒間を 厳守しましょう



- ▶空気中にキャニスターを持ち上げることは ストロー内温度を上昇させます
- ▶ストローの仕分け作業は、必ず液体窒素中で行いましょう
- ▶ストローが常に液体窒素中に浸漬していることが理想的な保管方法です
- ▶キャニスターの底を塞ぐなどの工夫をおすすめします

注意!

精液融解時の急激な温度変化により、ストローが破裂したり、綿栓が抜けて飛び出すなどの危険が ありますので、融解中にのぞきこむ時は必ず安全ゴーグル等の防護具を着用してください。

社) 家畜改良事業団 岡山種雄牛センター TEL: 0868(57)2475 FAX: 0868(57)2476

FAX: 0868(57)2476

高知競馬開催案内

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

岡山県馬事畜産振興協議会(事務局 岡山県畜産協会)は、平成30年7月 21日(土)に高知競馬場において、「ももたろう特別競走」の本年度第1回目 を開催します。

7 月								8 月									
開催日			備考	考 開催日			備考	開催日			備	考	開催日			備	考
1	日	\bigcirc	ナイター	17	火			1	水				17	金			
2	月			18	水			2	木				18	土	\bigcirc	ナイ	ター
3	火			19	木			3	金				19	日	\bigcirc	ナイ	ター
4	水			20	金			4	土	\bigcirc	ナイ	ター	20	月			
5	木			21	土	\bigcirc	ナイター	5	日	\bigcirc	ナイ	ター	21	火			
6	金			22	日	\bigcirc	ナイター	6	月				22	水			
7	土	\bigcirc	ナイター	23	月			7	火				23	木			
8	日	\bigcirc	ナイター	24	火			8	水				24	金			
9	月			25	水			9	*				25	土	\bigcirc	ナイ	ター
10	火			26	\star			10	金				26	日	\bigcirc	ナイ	ター
11	水			27	金			11	土				27	月			
12	木			28	十	\bigcirc	ナイター	12	日				28	火			
13	金			29	日	\bigcirc	ナイター	13	月				29	水			
14	土			30	月			14	火		·		30	木			
15	日	\bigcirc	ナイター	31	火			15	水				31	金			
16 月 〇 ナイター ナイター(15:30~20:50)					16	木				ナ	(タ-	-(1	5:30~	20:50)			

ホットニュース

平成30年5月27日(日)、岡山県馬事畜産振興協議会(事務局 岡山県畜産協会)は、美咲町まさばの館(岡山県畜産研究所内)で開催された『感謝祭』に参加した。県民の畜産への関心や理解を深めるために、「牛、鶏さんの話」などのPRパンフレットを配布した。

新緑の中晴天にも恵まれ、乳搾りやアイスクリーム作りを体験したり、岡山県産交雑牛肉『清麻呂』の試食や県産和牛肉の串焼きに舌鼓を打ったりする来場者で賑わいを見せていた。



あとがき

先日、長寿者1000人に食事について聞いた調査結果が報告されていた。さすがに皆さん卵や牛乳の摂取が多い。朝食の最強ベスト3は『卵・牛乳・コーヒー』らしい。卵は筋肉を作る。コーヒーは食前に飲むと血糖値の上昇を抑える。牛乳は1日1本で脳の活性化を図り、物忘れを防止するとのこと。私も他人事ではない。

私の地区では、90才を超えても一人暮らしで、家庭菜園をしたり店をしたりしている元気なお年寄りがたくさんいる。皆さん宅配の牛乳や卵を欠かさず取っておられる。元気の秘訣はやはり適度な労働と楽しみに加え、良質なタンパク質やカルシウムが欠かせないということか。

これまで漫然と食べていた畜産物ではあるが、健康のことも 考えながら食生活に上手く取り入れていきたいと思う。(N·S)

岡山畜産便り 6月号(初夏号)

第69巻 第4号(通巻675号) 平成30年6月25日発行 定価250円(消費税·送料含)

発行人 樋口義男 編集人 柴田範彦 発行所 **一般社団法人 岡山県畜産協会**

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館5階 TEL 086-222-8575 FAX 086-234-6031 印刷所 ノーイン株式会社



米国チャーム社:安全性評価用ラインナップ

[生乳用] 残留抗生物質/抗菌性物質スクリーニングキット

従来の阻止円による検査法と同等又はより短時間で、簡単に、かつ広範囲の抗菌性物質をスクリーニング検査できます。 世界的な標準検査法としてEU圏内、USAをはじめ世界中で広く普及しています。

<u>カウサイドエテスト</u>



バルクタンク、個体乳の検査用として ファームでの使用が広がっています。

ブルーイエローエテスト



検査処理数の多い生乳検査所、 乳業工場でご活用頂けます。

DIPテスト

簡単 安心 低価

チャームDIPテストは、ROSAテスト ストリップのコンセプトをもとに開発 され、より簡単に、目視で判定を行え

- ◆ 10分の迅速検査
- ◆ 1セット100本入り (専用スポイト、サンブルボトル付)
- ◆ コンパクトな加温機(約7回四方)
- ◆安心してお使い頂ける低コストキット

FOSS FOSS製:乳、乳製品分析ソリューション

ミルコスキャンマースは生乳、飲用乳、クリームを対象とした新世代のFT-IR(フーリエ変換赤外分析)型乳成分測定装置です。ミル コスキャンシリーズで培ってきた技術と知識を結集させ、コンパクトなパッケージングに数々の新開発テクノロジーを搭載。生乳の品 質管理、原料乳の標準化、製造管理の効率化を高い次元で支援します。



MilkoScan ™ Mars FT-IR乳成分測定装置

■測定項目 :脂肪、タンパク、乳糖、

全固形、無脂固形、 氷点 (加水)

■測定原理 : フーリエ変換赤外分光法

■測定時間 :約1分

ANALYTICS BEYOND MEASURE

************** 詳細は下記までお問い合わせください ***********

Charm社国内総合販売代理店 フォス・ジャバン株式会社

- ○東京本社
- ○札幌営業所
- TEL:03-5665-3821
- TEL:011-518-1831
- ○大阪営業所
- ○九州営業所

TEL:06-7174-8550 TEL:096-292-8681

E-mail:info@foss.co.jp / URL: www.foss.co.jp

取扱品目のあらまし

動物用ワクチン・血清類一切、獣医畜産用薬品全般 家畜・家禽の飼料添加剤各種.獣医畜産用器具機械類 衛生材料(ガーゼ・脱脂綿・繃帯・その他) 土壤関係検査測定器具·試薬



JYUCHIKU Co. 1 td.

株式会社 ジュウチク

岡山市北区奉還町4-4-11 岡獣ビル内

TFI 086-214-2288 FAX 086-214-2287

